

次のとおり、職員的人事異動を行いました。

●部長級
▼財政部長(健康福祉部長) 笹井和弥▼健康福祉部長(総務課長 藤井正浩)▼経済産業部長(財政課長) 後藤重樹▼教育部長(教育総務課長) 榎見敏弘▼監査委員事務局局長(農林水産課長) 波多野和博

●課長級
▼総務課長(健康長寿課長) 江守耕一▼監理課長(建設課長 松永都美)▼財政課長(総務課長 補佐 吉田孝志)▼生活環境課長(税務課長 補佐 渡邊清宏)▼健康長寿課長(健康長寿課長 補佐 笹木哲吾)▼農林水産課長(スポーツ課長 大角勇治)▼建設課長(上下水道課長) 龍田雅人▼上下水道課長(学校給食センター) 所長 岩田利和▼教育総務課長(監理課長) 房野信彦▼教育総務課長(福井大学附属義務教育学校校長) 荒川誠▼学校給食センター 所長(生活環境課長) 能美雅一▼スポーツ課長(議事事務局局長 補佐) 宮川利秀▼議事事務局次長(農林水産課長 補佐) 東俊行

●課長補佐級
▼総務課長補佐(総務課主任) 炭谷祥孝▼税務課長補佐(市民課主任) 西正真▼収納推進課長補佐(生活環境課長補佐) 江川欣男▼収納推進課長補佐(収納推進課主任) 高嶋良子▼市民課長補佐(菅原分室長) (子育て支援課長補佐) 井口清美▼生活環境課長補佐(収納推進課長補佐) 中道和也▼福祉課長補佐(福祉課主任) 大久保美穂▼子育て支援課長補佐(福祉課長補佐) 村中直子▼子育て支援課長補佐(子育て支援課主任) 山本昌明▼健康長寿課長補佐(健康長寿課付課長補佐) (坂井地区広域連合派遣) 常廣由美▼農林水産課長補佐 監査委員事務局局長 補佐 山下綱章▼観光商工課長補佐(企業誘致室長) (観光商工課主任) (企業誘致室長) 中島之裕▼建設課長補佐(上下水道課長補佐) 西出茂隆▼上下水道課長補佐(建設課長補佐) 近藤克巳▼上下水道課長補佐(上下水道課主任) 浅田政幸▼スポーツ課長補佐(総務課付課長補佐) (福井坂井地区広域市町村圏事務組合派遣) 長谷川元人

●主任級
▼市民課主任(文化学習課付主任) (金津創作の森財団派遣) 川崎直樹▼子育て支援課主任(菅原こども園副園長) 大廻晴美▼健康長寿課主任(健康長寿課主任) 谷口富弥▼建設課主任(建設課主任) 高橋啓介▼新幹線まちづくり課主任(新幹線まちづくり課主任) 赤神貴幸▼教育総務課主任(教育総務課主任) 下村純子

●主査、主事など
▼総務課主査(総務課主事) 西田浩也▼総務課主査(男女共同参画推進室) (議事事務局主査) 土橋友美▼総務課付主査(福井県派遣) (生活環境課主事) 齊藤大樹▼総務課付主査(福井坂井地区広域市町村圏事務組合派遣) (財政課主査) 久嶋智紀▼政策課主査(総務課付主事) (福井県派遣) 長谷川博祥▼政策課主査(政策課主事) 山本浩太▼政策課主査(政策課主事) 山崎公聖▼財政課主査(財政課主事) 小林拓巨▼収納推進課主査(中央公民館主事) 板東裕美▼収納推進課主査(収納推進課主事) 東真一郎▼市民課主査(市民課主事) 高橋良典▼市民課付主査(福井県後期高齢者医療広域連合派遣) (市民課付主事) (福井県後期高齢者医療広域連合派遣) 真田恵利▼健康長寿課主査(健康長寿課主事) 岩本美里▼観光商工課主査(監理課主事) 多賀太郎▼観光商工課主査(企業誘致室) (市民課主事) 岡田祐果▼文化学習課主査(総務課主査) (男女共同参画推進室) 嶋川登美枝▼中央公民館主査(上下水道課主査) 小嶋裕子▼中央公民館主査(建設課主査) 村越一仁▼文化学習課付主査(金津創作の森財団派遣) (トリムパークかなづ主査) 林大作▼スポーツ課主査(総務課付主査) (福井県上下水道公社派遣) (関典夫) 国体推進課主査(国体推進課主事) 青木郁未▼議事事務局主査(文化学習課主査) 松本智美▼議事事務局主査(議事事務局主事) 坂井真生▼総務課付主事(福井県上下水道公社派遣) (スポーツ課主事) 松村邦弘▼監理課主事(収納推進課主事) 鍛川昂志▼財政課主事(農林水産課主事) 南昇兵▼生活環境課主事(税務課主事)

笠原遼▼健康長寿課付主事(坂井地区広域連合派遣) (収納推進課主事) 山岸謙介▼農林水産課主事(スポーツ課主事) 宮谷友基▼農林水産課主事(上下水道課主事) 阪本徳哉▼観光商工課主事(観光商工課主事) (企業誘致室) 後藤悦子▼観光商工課付主事(国土交通省観光庁派遣) (観光商工課主事) 酒井麻江▼建設課主事(上下水道課主事) 杉本憲太郎▼上下水道課主事(建設課主事) 坂森俊太▼上下水道課主事(建設課主事) 向出達大▼文化学習課主事(中央公民館主事) 佐川隆紀▼中央公民館主事(農林水産課主事) 伊藤文隆▼総務課主事(任用替) (任用付職員) (正職員) 荒谷聡志▼政策課主事(新採用) 坂谷晴香▼税務課主事(新採用) 酒井良之輔▼市民課主事(新採用) 鎌塚夢稀▼市民課主事(新採用) 宮永佳美▼生活環境課主事(新採用) 水野花穂▼福祉課主事(新採用) 坂本怜子▼福祉課主事(新採用) 太田菜緒▼子育て支援課主事(新採用) 松田真佑佳▼農林水産課主事(新採用) 向大地▼農林水産課主事(新採用) 北嶋実▼建設課主事(新採用) 宮本拓海▼建設課主事(新採用) 森川恭裕▼上下水道課主事(新採用) 吉村光平▼教育総務課主事(新採用) 西野広恵▼スポーツ課主事(新採用) 小南みず穂▼スポーツ課主事(新採用) 杉原美咲▼学校給食センター調理員(新採用) 堀川裕美▼学校給食センター調理員(新採用) 高草木希▼学校給食センター調理員(新採用) 坂井祐子

●認定こども園関係
▼菅原こども園副園長(金津こども園保育教諭) (市民課主査) (菅原分室) 西崎千晴▼菅原こども園保育教諭(金津こども園保育教諭) 坂本裕美恵▼金津こども園保育教諭(菅原こども園保育教諭) 江藤阿沙美▼金津こども園保育教諭(菅原こども園保育教諭) 岡寄真子▼金津こども園調理員(学校給食センター) 調理員 加藤麻美▼菅原こども園保育教諭(新採用) 森柚衣香▼金津こども園保育教諭(新採用) 小川みなみ▼金津こども園保育教諭(新採用) 藤田彩花

●学校関係
▼菅原中学校用務員(菅原小学校用務員) 吉田佳克▼菅原小学校用務員(菅原中学校用務員) 角山恵子

●再任用職員
▼菅原こども園技師 江戸晶子▼菅原こども園調理員 中出眞利子▼金津こども園技師 赤神敏江▼農林水産課主事 後藤とみ子▼上下水道課主事 中嶋豊美▼学校給食センター調理員 辻裕子▼学校給食センター調理員 多賀好子▼文化学習課付主査(金津創作の森財団派遣) 長谷川まゆみ▼湯のまち公民館主事 見澤淳子▼金津図書館主査 佐藤雅美▼金津図書館主事 吉村由美子▼菅原図書館主査 久嶋一廣▼菅原図書館主事 佐々木幸枝▼トリムパークかなづ主査 三上進▼国体推進課主事 深谷孝春▼国体推進課主事 松永豊▼国体推進課主事 後藤幸子▼国体推進課主事 土田佳美

●退職(平成30年3月31日付け)
▼平井俊宏(財政部長) ▼川西範康(経済産業部長) ▼久嶋一廣(教育部長) ▼永神厚子(子育て支援課主任) ▼谷川聡志(観光商工課主任) ▼井口論(教育総務課主任) ▼土田佳美(国体推進課主査) ▼藤田里美(健康長寿課主査) ▼向井仁勇(文化学習課主事) ▼山本未来(子育て支援課保育教諭) ▼後藤真代(子育て支援課保育教諭) ▼西岡加奈子(子育て支援課保育教諭)

●派遣職員退職(平成30年3月31日付け)
▼志田聖一(教育総務課参事)

() 内は前職

あわらし観光白書

平成29年実績

平成29年1月から12月までの1年間にあわらし市を訪れた観光客は、182万2000人(対前年比6万4800人、3.4%の減)となりました。このうち宿泊客は、83万1500人(同6万2000人、6.9%の減、日帰り客は98万8700人(同2800人、0.3%の減)で、北陸新幹線金沢開業後3年が経過し、開業前と比較すると、やや上回ってはいるものの、ほぼ同等の水準まで減少しました。

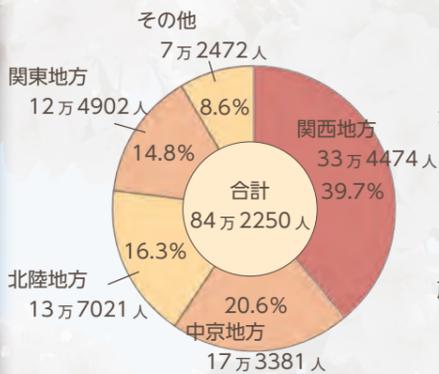
平成28年との比較

北陸新幹線金沢開業後3年目をむかえ、あわらし温泉や加賀温泉郷も宿泊客数が減少傾向にある中、金沢市の宿泊客数は依然として高い水準を維持しています。富山県の温泉地の宿泊客数も開業前より高い水準を保っていることを踏まえ、新幹線が開業した地域の経済波及効果は継続しているものの、金沢以西の未延伸エリアに関しては新幹線効果がさらに薄れた1年であったといえます。

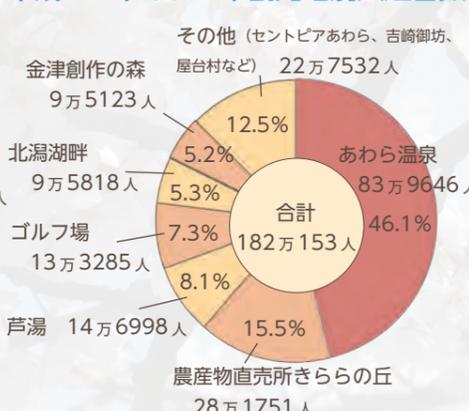
観光客増加の観光地は少数

各観光地においては、湯けむり横丁とさららの丘を除いては減少傾向にありました。金津創作の森は、企画展の話題性や開催期間の天候などにより、例年利用者に大きな変動がありますが、今年5月に地湯の内部壁が剥離し、その修復工事のために延べ13日間休館していたことも影響していると思われる。

平成29年あわらし地域別観光客数(県外客)



平成29年あわらし観光地別入込客数



外国人観光客数の伸びる大きさ

あわらし温泉の外国人宿泊者は1万1541人と、11.6%増加しており、昨年に引き続き10%以上の伸びを維持しています。しかしながら、日本政府観光局(JNTO)が平成30年1月に発表した29年の訪日外国人客数(推計値)は、前の年に比べて19.3%増の2869万1000人で過去最高となったことからみると、あわらし温泉の宿泊者数の伸び幅はまだまだと言わざるを得ません。

今後の対応

あわらしならではの旅行商品の発信

平成30年に開催される福井しあわせ元気国体・元氣大会では、福井へ訪れる競技者や関係者などをしっかりとしたおもてなしの心と笑顔で迎え、あわらしのファンにし、リピーターへと繋げていかなければなりません。

旅行のトレンドがその地域でしか経験できない文化体験や食体験など、コスト消費、ヘシフトする中、「あわらしならではの「あわらしにしかない」にこだわり、個々の観光地や着地型旅行商品を磨き上げ、効果的に県内外に発信していくことが重要です。

また、民泊の解禁や周遊型豪華華台列車、グランピング(※)など、宿泊の形態やニーズが多様化する中で、旅館はさらに厳しい競争にさらされると予想されますが、地元食材の活用やおもてなしの向上などでほかの温泉地と差別化を図っていく必要があります。

さらに、北陸新幹線を活用し、福井県立恐竜博物館や永平寺での体験はもとより、県内の伝統工芸品の産地と連携しながら、首都圏からの教育旅行の誘致にも力を入れていきます。

増加の一途をたどっている訪日外国人客数については、まだまだ伸びしろがあり、平成32年の東京オリンピックや平成35年の北陸新幹線敦賀開業を大きなチャンスと捉え、外国人観光客の受け入れ環境を整え、効果的なプロモーションを県や近隣市町と連携して実施していきます。

広域連携とインバウンドを推進

広域的な観光戦略として、坂井市と連携し、各地の観光素材をハード面とソフト面の両方から磨きあげ、滞在時間を延長させることを目的とした「周遊・滞在型観光推進事業」(坂井・あわらしエリア)がスタートしており、エリア内の観光地を周遊できるチケットの発行や、二次交通の拡充などを行います。

また、石川県加賀市とあわらし市、坂井市、永平寺町、勝山市の5市町で構成する「越前加賀インバウンド推進機構」で整備したスマートフォン向けアプリや、外国人向け情報端末「Pontana」から得られるビッグデータを活用し、エリア内の訪日外国人の観光動向を調査して、さらに今後の取り組みに反映させていきます。

北陸新幹線県内延伸に向けて

北陸新幹線敦賀延伸を見据え、観光事業者だけに限らず、本市の歴史や食文化について紹介できる人材を育成し、地域への愛着を醸成するとともに、おもてなしの機運を高めていきます。また、北の玄関口であり、嶺北地域の観光拠点となる北陸新幹線芦原温泉駅の観光案内所の機能や二次交通の充実について検討を進めていきます。

さらに、あわらし市の観光を次のステージに引き上げるため、新たな観光戦略を策定し、観光施策を効果的に進めるロードマップを盛り込みます。

※テント設営や食事の準備を必要としない良質な自然体験型宿泊施設の総称

問合せ 観光商工課

☎73-8029